

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	藤田 太朗

開催日時	令和7年11月6日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 大会議室
出席者(委員)	植田紀美子 委員、澁谷栄作 委員、榎藤幹晶 委員、前田浩 委員、 楫 希代見 委員、山崎明美 委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長首席2名、部主事、進路指導部主任、教務部主任、 生活指導部主任、情報コミュニケーション科長、本2学年主任
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度 学校経営計画 進捗状況 他
備考	

議題等(次第順)
1 開会挨拶 2 協議 3 保護者からの意見書について 4 閉会挨拶 5 その他【事務局】
協議内容・承認事項等(意見の概要)
各委員からのご意見 2 協議 1) 高等学校等デジタル人材育成支援事業1(DXハイスクール)について【情報コミュニケーション科長、生徒】 ・社会の成長領域について取り組み、プロダクトエンジニアリングにも通じる先進的な内容で、感銘を受けた。 ・アバターに手話をさせるのは難しいが、取り組んでいる大学もあるので、連携するとよい。 ・だいせんの情報コミュニケーション科は、情報量も多くて設備も整っており、とても力を入れている。 ・環境整備だけでなく、教員も研修を受けて活用方法を学んでいるのがよい。 2) 万博STEAM教育・万博プロダクト公開 事後報告について【本2学年主任、首席】 ・製品づくりのワークショップに参加し、用意されたものではなくアイデアを形にするというのは、良い経験である。 ・社会との親和性のある、よい取組。 3) 20周年記念事業について【首席】 ・生徒が主体的に企画しているところがよい。 4) 令和7年度使用教科用図書 採択について【吉竹】 ・特になし 5) 学校生活の手引き 見直しについて【生活指導部長】 ・オフィスカジュアルやナチュラルメイクについては、周りに不快感を与えず、安全上の支障がないように心がけるよう指導してほしい。 ・職種によって服装の基準も変わる。学校で学んだことを、社会に出てからもずっと守り続ける生徒もいるので、気を付けて指導してほしい。 6) 令和7年度 学校経営計画 進捗状況について【校長】 ・いじめといじりの違いについて、相手を傷つけて笑いを取る様な言い方や、ストレートな表現で相手を傷つけることがあるので、相手を慮った言い方や冗談では許されないいじりなど、学校でも指導してほしい。 ・地域の学校では、大人数の中で1人だけ聞こえないという状況が、先生方もなかなか想像しにくい。勉強での配慮は受けているが生徒同士の取組課程での学びの機会が少ないと聞くので、だいせんでのそういった取組を発信していくとよい。 ・10月に実施された石川県での災害ボランティアについては、有志で参加した生徒の保護者からもとてもよかった、すごく身についたという話を聞いた。 ・生徒たちに、自分のことを説明する力を身につけてほしい。「このコミュニケーション方法をお願いします」「こういう支援をしてほしい」と、自分で説明できるようになってほしい。たとえば、「自分の取扱説明書」のようなカードを作って、説明するのも良い方法である。 3 保護者からの意見書について【事務局】 ・意見書の提出はなし

次回の会議日程	
日時	令和8年2月19日(木)10:00～
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 大会議室